

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
16	山下いづみ（23）	<p>1. 介護予防・日常生活支援総合事業の現状と今後の取組について</p> <p>本市では、平成28年4月から、介護予防と日常生活の自立を支援することを目的とした、介護予防・日常生活支援総合事業が始まりました。市町村が中心となって地域全体で介護予防や生活支援を行っています。要支援1、2の方々や事業対象者の方々は、訪問型サービスや通所型サービスなど、それぞれのニーズに合ったサービスを受けています。そして、要支援状態になるおそれがある高齢者の方々にもサービスを提供するなど、介護予防や生活支援を切れ目なく提供できることが特徴です。</p> <p>総合事業が始まり8年がたち、いま一度、事業の目的を明確にして高齢者の方々へよりよいサービスを提供できるようにすることと同時に、サービスを提供する側の環境もしっかりと整えていくことが肝要だと考えます。</p> <p>そこで以下3点質問します。</p> <p>(1) 介護予防・日常生活支援総合事業の中で、通所型サービス事業はどのようなことを行なっているのか。</p> <p>(2) 現在の要支援1、2の人数と今後予想される人数はどのようか。</p> <p>(3) 要支援1、2の方々へのサポートはどのように強化していくのか。また、サービス事業はどのように展開していくのか。</p> <p>2. 公立小学校の給食の日数について</p> <p>学校給食では、毎回栄養バランスの取れた豊かな食事を提供しています。学校給食は、明治22年(1889年)に山形県鶴岡町の私立忠愛小学校で始まったとされています。その後、経済的に恵まれない児童たちのために栄養補給・就学奨励を目的として各地で始められました。現代では、食環境が変化し、豊かな食生活をもたらしている一方、朝食欠食率や孤食の増加、カルシウム不足、脂肪の過剰摂取など、児童生徒の食生活の乱れや偏った栄養摂取等が問題となっています。学校給食の目標は、健康の保持、増進のほかに、望ましい食習慣、社交性と協同の精神を養うこと、自然に感謝し、大切にすること、食に携わる人へ感謝すること、日本食や郷土食、食料の生産、流通及び消費についても理解を深めることと定めています。</p> <p>学校給食は児童生徒たちの身体の成長、心の安定、精神の成長に寄与しています。自治体によって給食の提供回数も様々です。</p> <p>そこで以下4点質問します。</p> <p>(1) 給食提供回数をどのように決めているのか。年間授業日数に対して何回給食を提供しているのか。</p> <p>(2) 給食がない日があるが、その理由は何か。</p> <p>(3) 給食がない場合、どのような対応を取っているのか。</p>	市長 及び 教育長 担当部長

順位	氏名（議席）	発 言 の 要 旨	答 弁 者
16	山下いづみ（23）	（4）給食の日数を増やすよう検討する必要があると思うが、 いかがか。	市 長 及 び 教 育 長 担 当 部 長